

2016年度第2四半期の貯金残高について

2016年11月28日



1 2016年度第2四半期の貯金残高について

- 2016年度上期の「個人貯金等」は0.7兆円増。(A)
 - 貯金種類別には、
 - ア 振替貯金（総合）が減少し、有利子貯金へのシフトが継続（B）
 - イ 定期性貯金については、前年同期の増減幅とほぼ同規模となっている。
 - ウ 通常貯金については、上記アの理由や、「払戻し」が減少傾向にあることから、残高が増加している。（C）
- ※ 「個人貯金等」とは、貯金残高から、法人等の決済性預金（＝振替貯金（一般））、大口定期、その他貯金を除いたもの

				(単位：兆円)	
	①2016年3月末	②2016年9月末	2016年度上期 の増減（②－①）	2015年度 上期の増減	2014年度 上期の増減
貯金残高	177.8	178.4	0.5	0.0	0.0
個人貯金等	174.4	175.2	(A) 0.7	0.1	0.1
通常貯金	49.9	52.2	(C) 2.2	0.0	▲0.2
定額貯金	102.4	102.4	0.0	0.0	0.9
定期貯金 大口定期 除く	11.2	10.7	▲0.5	▲0.4	▲1.0
振替貯金（総合）	10.8	9.7	(B) ▲1.0	0.4	0.4
法人貯金等	3.2	3.0	▲0.1	▲0.1	▲0.0
振替貯金（一般）	3.0	3.0	0.0	▲0.0	0.0
大口定期	0.2	0.0	▲0.2	▲0.1	▲0.0
その他	0.1	0.1	▲0.0	▲0.0	▲0.0

(参考) 「個人貯金等」の増減 (第1四半期)

		2016年度の増減	2015年度の増減	2014年度の増減	
9/29 委員会提出済	→	個人貯金等	1.5	1.1	1.0

- ※ 貯金残高には未払利子を含まない
- ※ 自社株取得に伴うグループ会社の貯金等の特殊要因を除く
- ※ 大口定期は、預入限度額適用除外法人等及びグループ会社による 1,000万円以上の定期貯金への預入